

市民運動新聞編集委員会 御中

2022年10月24日

小金井市前原町小金井市前原町 3-40-1

小金井スカイコーポラス 311-A 号室

TEL: 042-387-1068

小金井・生活者ネットワーク 代表 田頭祐子

2022年10月15日発行の「市民運動新聞」No499の、編集委員・佐野浩氏のコラム「遺伝子につき動かされて卵子を求めた 326 の画像」について、抗議するとともに以下の対応を求めます。

いつも「市民運動新聞」をお届けいただきありがとうございます。先日、小金井市議会の生活者ネットワークの控室ポストに配られた No499 号を拝読した市議・安田けいこより問題提起がありました。1 面のコラム、「遺伝子につき動かされて卵子を求めた 326 の画像」の内容は、一人の編集委員の主観的感想を記したものとはいえ、地域新聞としての見識を疑われるものであり、看過できないと大きな憤りを持ち伝えて参りました。さっそく小金井ネットの仲間たちに呼びかけて、このコラムを複数の目で読みました。その結果小金井・生活者ネットワークとして、コラムにある佐野氏の見解と表現に対しては、謝罪と撤回を求めるべきとの結論に至りました。

私共はご承知の通り地域政党として、1989 年より小金井市で活動しております。一貫して、地域で暮らす生活者の目線で市民主体のまちづくりを提案・実践してまいりました。それは一人一人が性差や年齢等の別なく、安心して誇りと尊厳を持ち暮らせるまちづくりでもあります。男女等の性差によらず、最大の人権侵害ともいわれる性暴力被害も加害も起こらぬように、誰もが人として尊重されるために、まずは包括的な性教育の必要性を訴え、相談窓口や専門性の高い相談員の配置なども求めてきました。

その立場からもまず「遺伝子につき動かされて卵子を求めた 326 の画像」とのタイトルにも何を意味し、何を主張されたいのか違和感と不快感を持ちました。

そして、なにゆえか理由は不明ですが、「わいせつ行為と男」と検索して出てきた「たくさんの画像と説明」の、「女子学生へわいせつ行為…大学教授」はじめ正視に堪えな

い複数の「」付きワードは、どれも明確な性暴力・性犯罪行為です。これらが「326 画像」と言われます。ちなみに同ワードで検索してみると「性犯罪事件」としての報道や解説などが出てきました。

佐野氏が閲覧された「画像と説明」と同一かは不明ですが、少なくとも一方では「事件」として扱われた報道や解説記事です。これらの性犯罪に対して「やむにやまれなかったのだらうなあ」「あなたたち皆、有性生殖の犠牲者だよな」との発言は、地域新聞の編集委員として「性欲」と「性暴力欲」の違いもわきまえず、しかもその性犯罪に同調するのかと、我が目を疑いました。

「ただ、ただ遺伝子の命令に忠実に卵子を追い求めた結果が、先の 326 の画像であろう」との見解も同様に、性犯罪容認のみならず、男女区別なく人としての尊厳を貶めるものであり、いのちに対する冒瀆です。

性暴力は、性欲や生殖本能など性的欲求によるものではなく、性を用いた支配・攻撃であるとは、性暴力に詳しい弁護士などからも指摘され、良く知られた事実です。戦争でも支配のための戦略としてレイプが使われています。そのような中で、どのような理由があり地域で発行される新聞紙上で、このような性暴力・性犯罪行為への容認を公に述べられるのか、理解不能です。

これらの極めて不適切な表現に対し公の場で謝罪し、撤回することを求めます。

地域の事業者から広告を募集し発行する地元密着のメディアとして、地域の安全を願う観点でも不適切と、問題視する声も出ています。また、編集委員の佐野氏は多数の保育施設を運営される経営者でもあります。子どもの命を預かる施設の責任者としての、良識的なご判断を期待いたします。

ご回答は、10月31日までに以下、小金井・生活者ネットワークまでお寄せください。なおこの要望書と御社からの回答は、小金井・生活者ネットワークのHPやFacebookなどで公開の予定です。

御多忙中とは存じますが、ご回答のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

小金井・生活者ネットワーク <koganei@seikatsusha.net>